

令和7年度都立山崎高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の定着と豊かな言語活動の実現	○学習プリント等を利用した文章読解指導 ○語彙や文法などの知識事項習得の支援	○発問や演習問題に対する口頭記述 解答作成指導と他者の意見・考えを踏まえた改善指導
地理歴史・公民	基礎的教養の指導の充実	○文章が簡潔で、図や写真が多く掲載されており、生徒が興味関心をもてる教科書の選定 ○中学の知識の学び直しを重視した授業の実施	○授業内の知識を活かして課題解決に取り組み、思考力、判断力、表現力の育成を目指す授業の実施 ○ユネスコスクールとして、理科、情報科と連携した教科横断型授業の開発と実践を行う。
数学	数学的な見方や考え方を働かせた数学的活動	問題解決の過程においてノートアプリ等を用いて共同学習等を行い、論理的に考察する活動を重視した授業を実施	○ノートアプリ等を利用して問題解決の過程を振り返って考察を深めたりする広めたり授業を実施 ○習熟度別の授業を活かし、教科書のレベルを超える発展的な内容を行う。
理科	「探究の過程」を身につけるための学びたくなる授業の充実	○個別最適化を図る单元ごとの学習の定着を可視化する ○身近な自然現象について取り扱い、興味関心を高めるとともに、持続可能な社会と関連付け、自ら学ぶ意欲を高める ○科学的なものの見方や考え方を育てるために実験、実習を行い、論理的な思考、判断、表現をする ○MetaMoji Classroomによるプリント記入など一人1台端末を活用した学習と表現を充実させる	○大学等の連携を活かして、探究の方法やレポートのまとめ方について学び、課題を見つけ、解決する力を育む ○ESD for 2030を踏まえ、ユネスコスクールとして、教育課程実践検証協力校としてSDGs理解の開発と実践を行う
保健体育	・運動の楽しさを味わい、健康や体力の状態に応じて自ら体力を高められる指導内容の充実を図る。 ・心身の健康の保持増進のために適切な意思決定や行動選択ができるよう指導の内容の充実を図る。	○教科会で年間授業計画について共有し、一貫性のある指導を目指す。 ○課題解決、探求型授業を導入し、グループ学習による探求的な授業の実施。	○昨年度の体力テストの結果を受け、科で検証し、生徒の実態に即した段階的な指導の改善と工夫を目指す。 ○問題解決の過程を振り返り、考察を深め、評価を改善する授業の実施。
音楽	歌唱や器楽の演奏で表現する技術を身につけ、自分なりに表出する。	○グループワークを実施して、自分の意見を他者に伝えたり、他者の意見を参考にして考えを深める。 ○いい声とはどのようなものか考え、実現させる目標をもって発声練習に取り組む。	○旋律やリズムの創作活動を通して、曲の構造を理解しながら表現する。 ○創作したものを表現するのにふさわしい奏法を考え、実践する。
書道	表現と鑑賞の相互の関連を図った能動的な学習活動	○書の伝統と文化を知るために古典の鑑賞と臨書活動を実施。 ○生徒が感性を働かせて能動的に学習を深めていくための創作活動の実施。	○学習の記録 ○振り返りのためのワークシートの記入、およびポートフォリオの作成。 ○9月の文化祭に向けた作品制作、および作品の展示。他者の作品の鑑賞。
美術	想像する力を養うとともに、表現する技術を身につける	素材や技法の違う課題を実践することにより、様々な場面における発想や表現する力を養う	相互の作品を鑑賞しながら、話し合うことにより視点の違う考えを学び、さらに工夫し発展する力とする
英語	基礎基本の指導の充実	○単語テストの実施 ○長期休業中を活用した反復練習 ○SDGsを意識し世界的な動向に興味を持つ教材開発 ○自分の意見を英語で言えるようにする	○英検対策 ○夏休み講習 ○校外講習
家庭	生活を主体的に営むための知識及び技術の習得	○学んだことを自分の言葉で整理し、どのように自身の生活に生かすかを検討する時間を毎時に設ける。 ○生徒が自分事として学べるよう、実物の用意など教材を工夫する。	○実験や実習等の体験的な学習を多く取り入れる。 ○多様な意見に触れさせるためにグループワークや調査○発表する活動を取り入れる。
情報	対話的で深い学びが出来る学習活動の設定	○教科書学習について、生徒間の対話を前提とした知識の習得を進める。 ○1学期はアプリデザイン、2学期はプログラミング、3学期はオープンデータを用いた探究的な学習活動の設定。 ○検定試験の年2回設定と講習の実施。	○共通テストの問題演習を見据えた、共働的な教科書学習の実施 ○東京都のプログラミングイベントへの参加 ○探究的な学習活動を繰り返したり、他教科等のの探究活動に応用できる活動スキルの習得